

「この時期だからこそ乗ろうと思った」。中田純一氏(中田商事社長、三重県伊賀市)は、昔から乗りたかったハマーH2を先月購入した。昨年の同じ時期なら中古市場でも八百万円はしていたというが、環境意識の高まりと景気低迷による需要の落ち込み、そして急激な円高も追い風となり、「破格値で買うことができた」という。

「子どもの頃からオフロードに興味があった」と語る中田社長。高校時代にはモトクロスでの三時間耐久レースにも出場したが、会社を設立してからは仕事に熱中するあまり、当時の熱い思いは薄れかけていたという。

ハマーで熱い気持ちに

私の宝物

再び当時の趣味に目を向けたのは、このところの不景気も一因。「好きなことに没頭する熱い気持ちこそ、元気になるなければいけないこの時期に必要なだ」という思いが背中を押したようだ。

環境対策や燃費向上に取り組む同社だけに、「ハマーでは会社に行けない。乗るのは週末の二日間のみだよ」と笑う。「オフロード好きを知る知人から『次は本物の戦車に乗り出すのではないか』と冷やかされているよ」と、楽しみに話すその目は、まるで少年のようだった。(加藤 崇)

中田商事
中田社長



※中田社長は、オフロードが大好きだという人との交流を図りたいという。連絡先は、同社のホームページまで。